教科「情報」に関するアンケート

- 平成16年度と平成18年度の比較 -2年間で何が変わったのか

埼玉県高等学校情報教育研究会 研究委員会

調査の概要

- 平成16年度の再調査を平成18年度に実施。
- 対象は埼玉県内の高校・養護学校。
- 前回は手紙・FAXを使用。今回はウェブサイト を利用。

資料は会誌 p.12~25

回答方法の変更

- 県の「簡易申請システム」を利用
- システムの制限により4つのサイトに分割。

- 準備での問題
- 短期間で比較的多くの回答を得る。
- データ集計が簡便になった。
- 最初のサイト以外の回収率がやや低い。

調查項目

	調査項目	今回 †	前回
「情報」が置かれている現状	教員、	質問(1)	I
	施設、教育課程	質問(2)	
「情報」の授業 の様子	座学と実習、 教材、評価	質問(4)	п

† 質問(3)は設定したが、今回の調査とは関係のない項目

回答数

- ・ 資料の各表は総数を100%とした百分率
- 実回答数
 - 質問(1)・・・ 80
 - 質問 (2) · · · 58
 - 質問 (4) · · · 66

「情報」の現状 教育課程

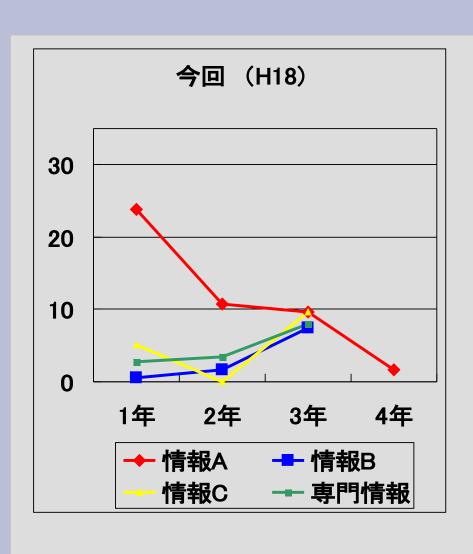
(実施科目)

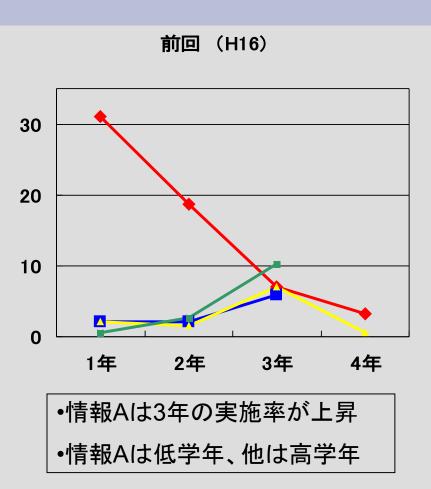




「情報」の現状 教育課程

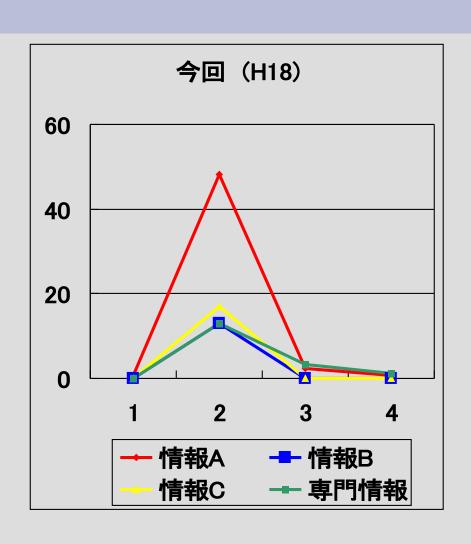
(実施学年)

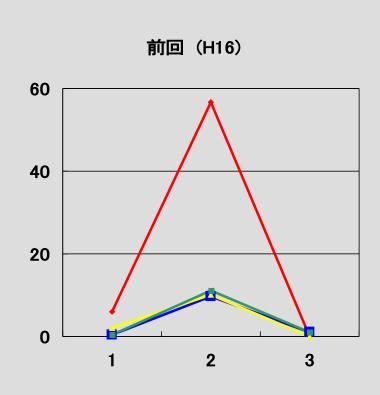




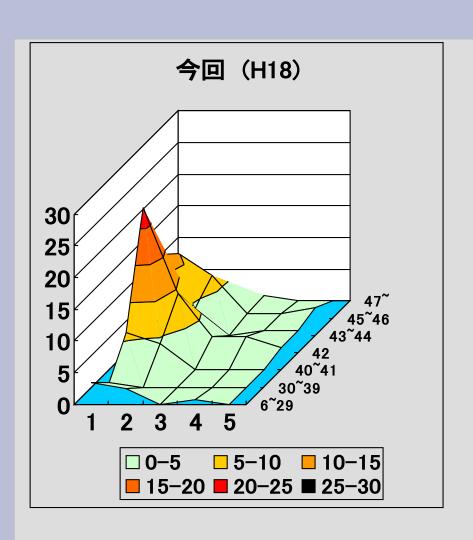
「情報」の現状 教育課程

(展開単位数)

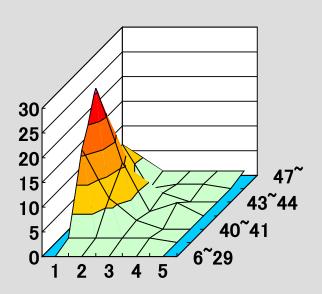




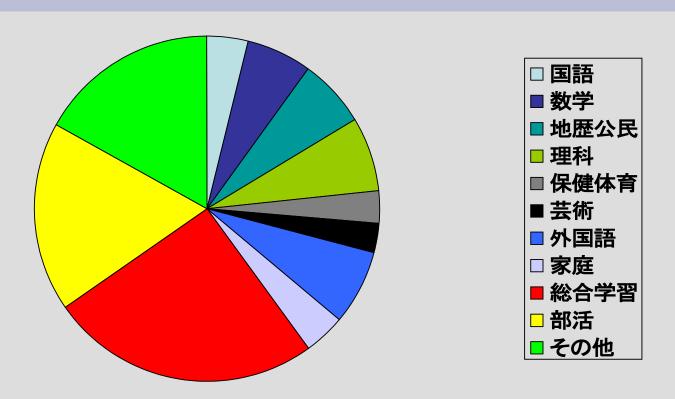
「情報」の現状 施設 (PC教室数と台数)







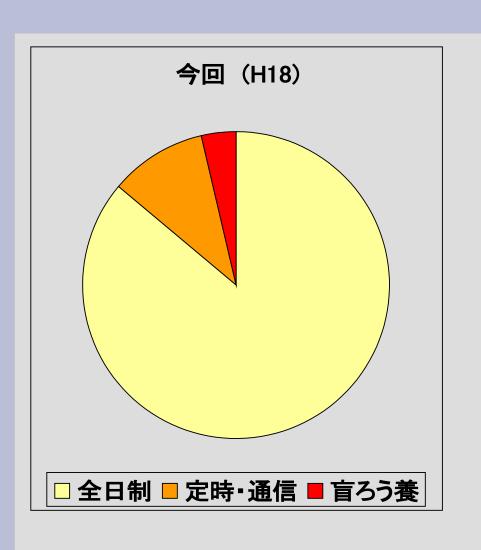
「情報」の現状 施設(「情報」以外の施設利用)

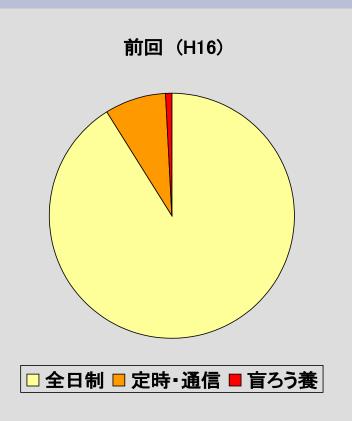


「総合的な学習」など教科外のことに利用されることが多い。

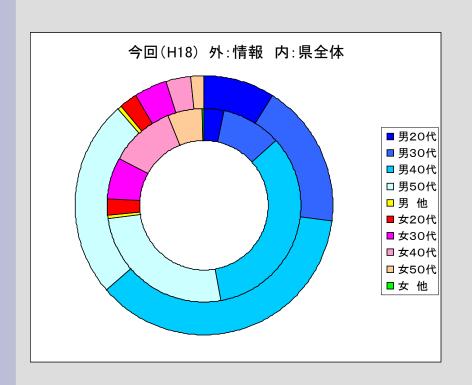
「情報」の現状

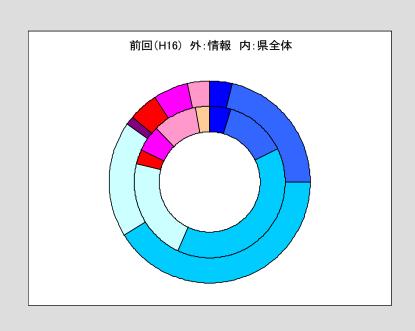
教員 (課程)





「情報」の現状 教員 (年齢・性別)

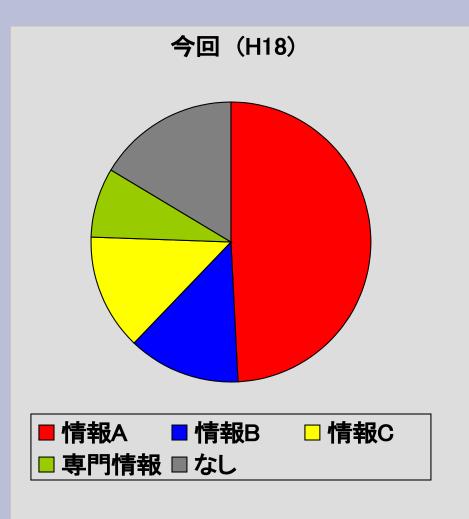


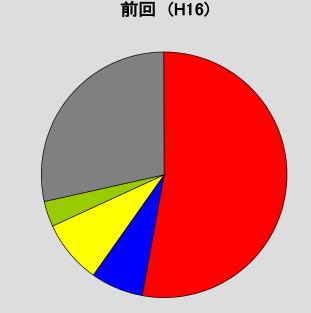


- •県全体と比べ男性が多い。
- •20代と50代が増えた。

「情報」の現状 教員

(担当科目)



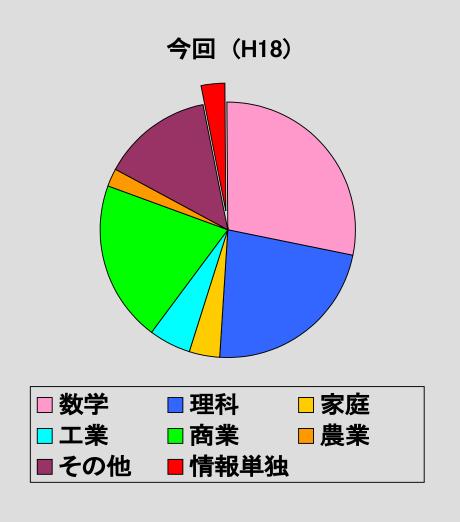


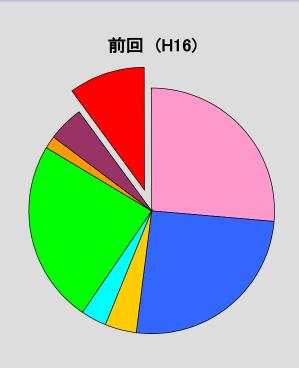
- •担当なしが減少した。
- •Aが減って他が増えた。

「情報」の現状 教員 (担当時間)



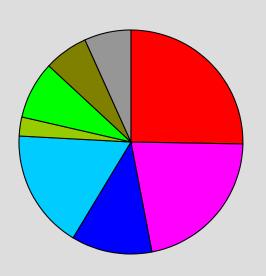
「情報」の現状 教員 (情報以外の免許)





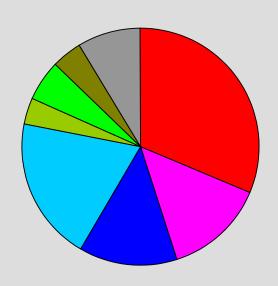
「情報」の現状 教員 (校務分掌)



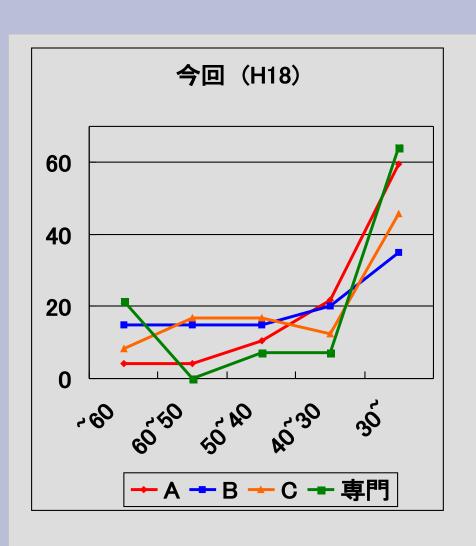


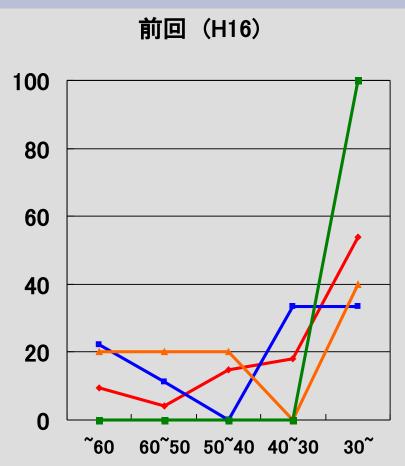
- ■教務
- □情報
- ■進路
- ■生徒指導
- □保健環境 □渉外
- ■図書・視聴 ■その他

前回(H16)

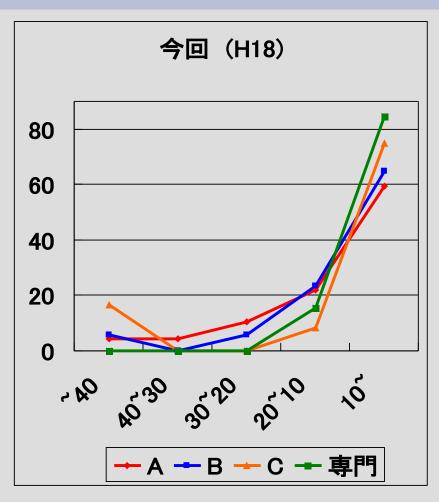


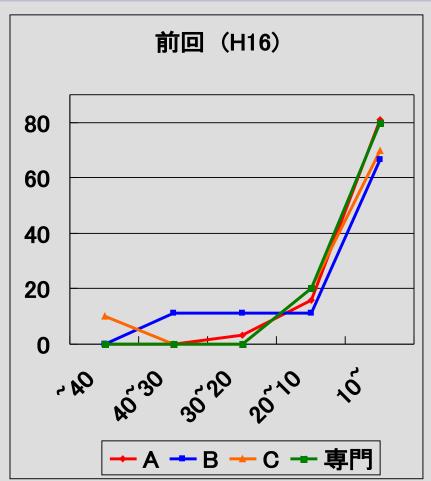
座学の割合





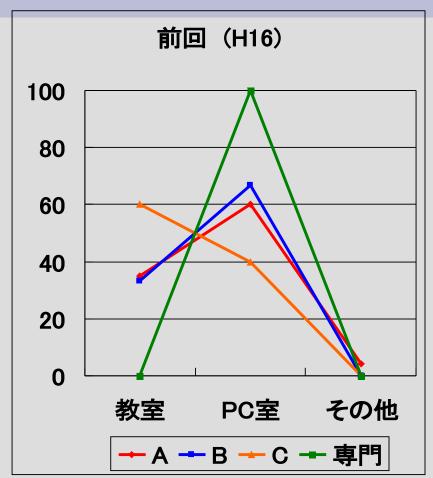
PCを使用しない授業



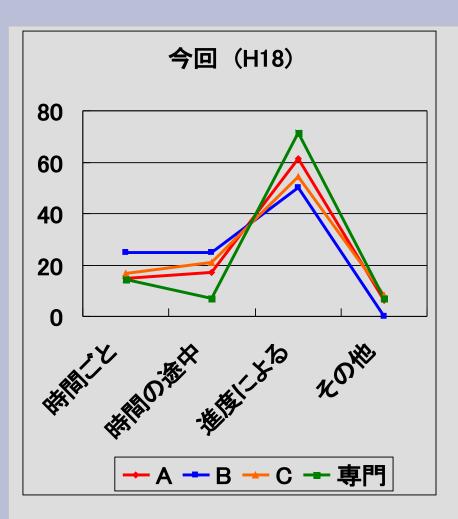


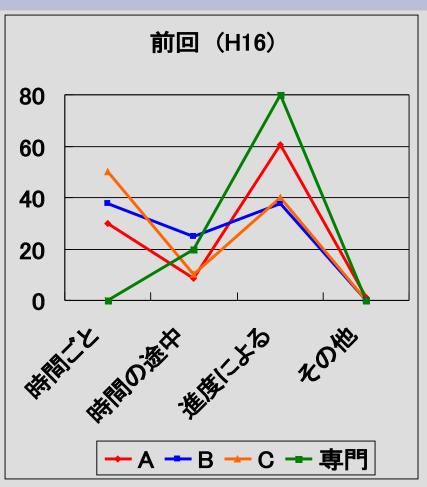
座学を行う場所



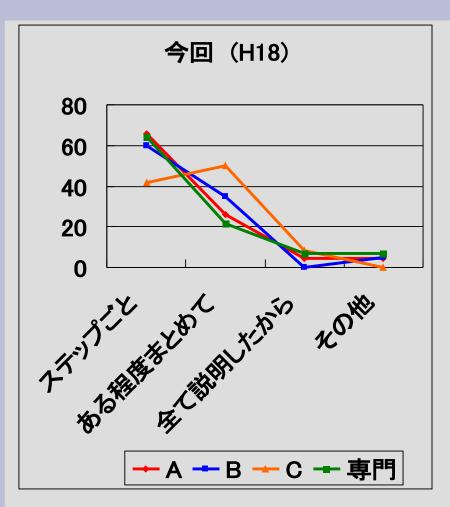


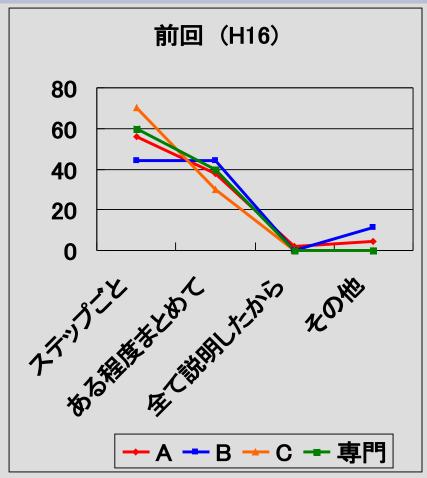
授業の様子 実習と座学の切り替えタイミング





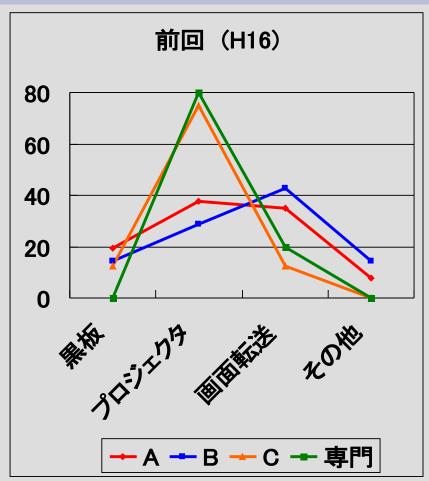
説明の形態



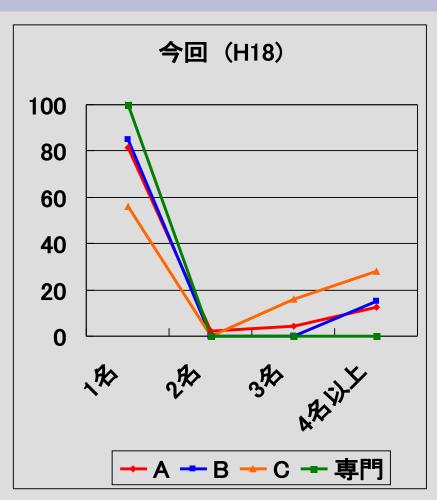


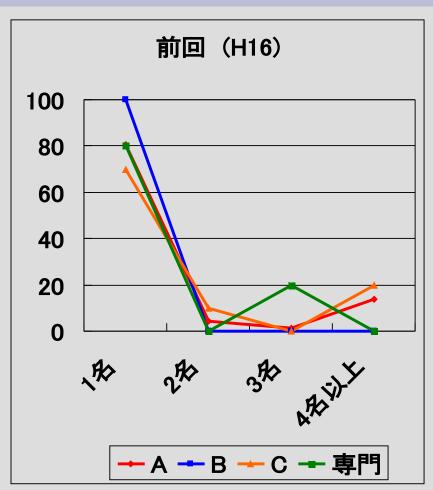
提示方法



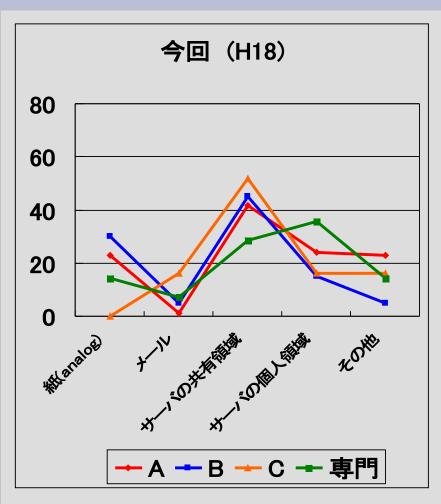


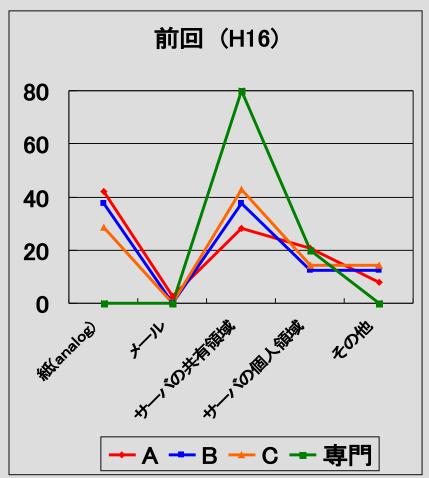
実習グループの人数



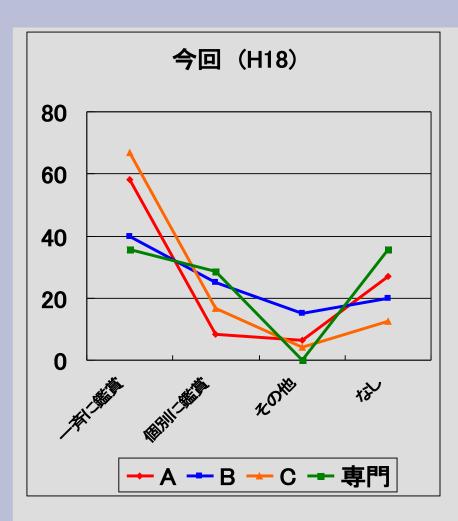


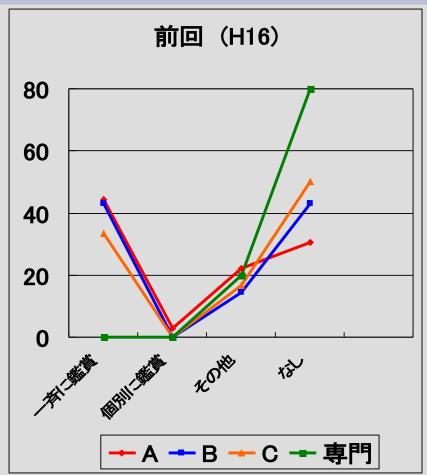
作品の提出方法





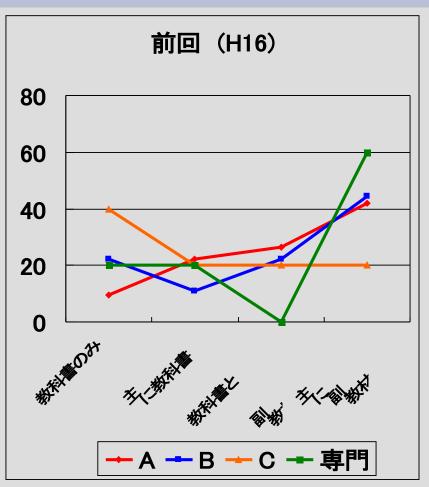
生徒相互の作品鑑賞



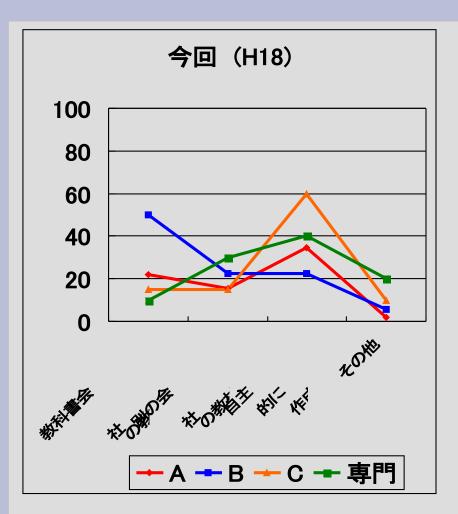


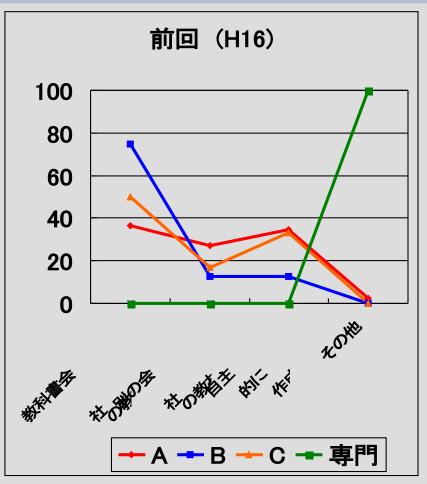
使用教材



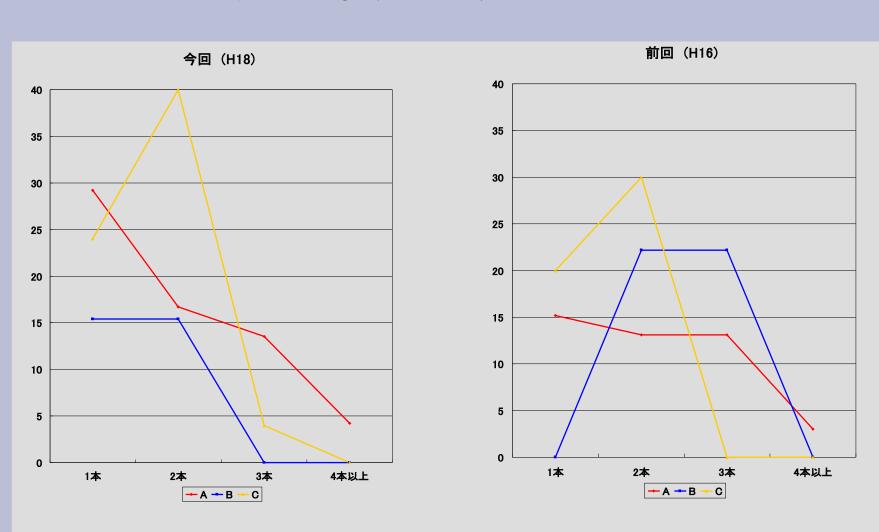


使用教材(副教材)





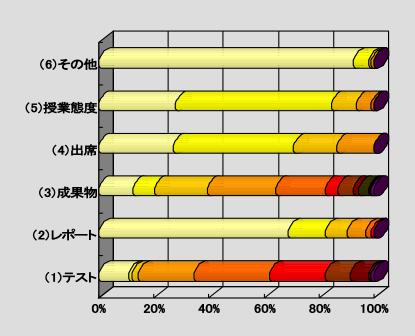
長時間課題の実施状況(5~10h)



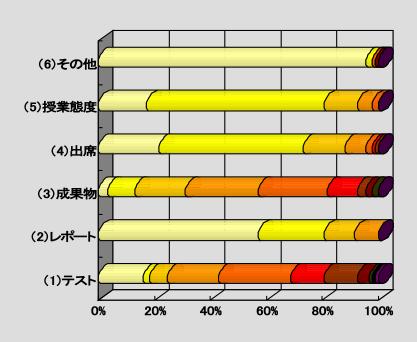
評価方法

(情報A)





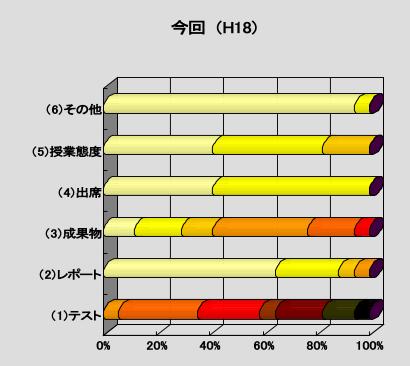
前回(H16)

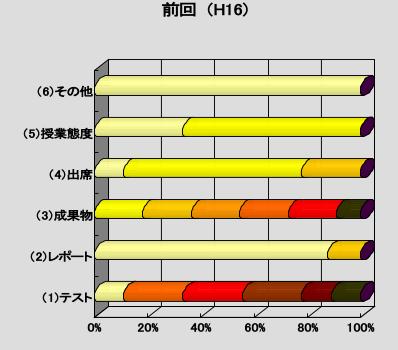


□ 0 □ ~1 □ ~2 □ ~3 □ ~4 ■ ~5 ■ ~6 ■ ~7 ■ ~8 ■ ~9 ■ ~10

評価方法

(情報B)



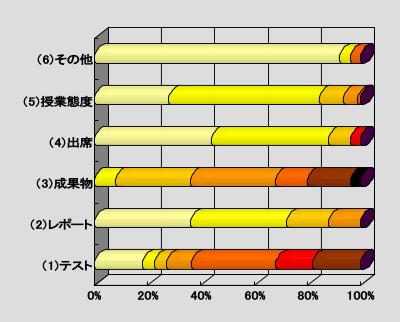


□ 0 □ ~1 □ ~2 □ ~3 □ ~4 ■ ~5 ■ ~6 ■ ~7 ■ ~8 ■ ~9 ■ ~10

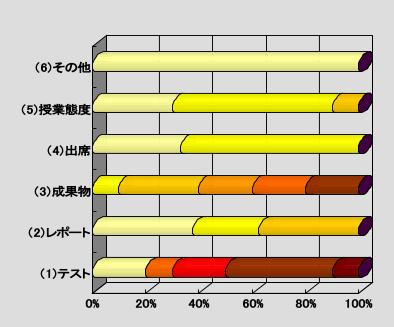
評価方法

(情報C)



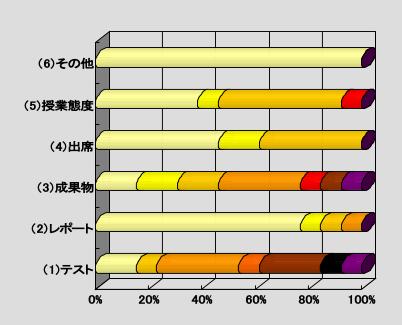


前回(H16)

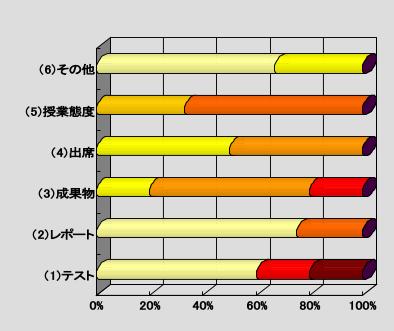


評価方法 (専門情報)





前回(H16)

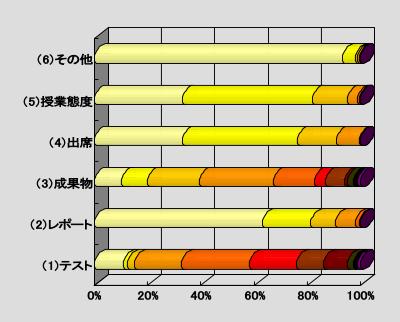


□ 0 □ ~1 □ ~2 □ ~3 □ ~4 ■ ~5 □ ~6 ■ ~7 ■ ~8 ■ ~9 ■ ~10

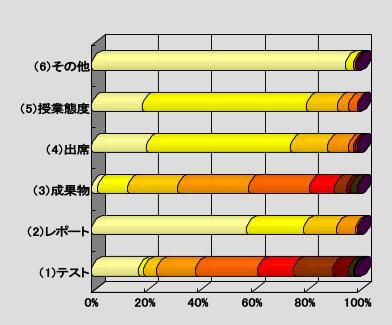
評価方法

(全体)





前回 (H16)



□ 0 □ ~1 □ ~2 □ ~3 □ ~4 □ ~5 □ ~6 □ ~7 □ ~8 ■ ~9 □ ~10

まとめ 1

- 1. 情報Aの割合の減少
- 2.1年での履修が微減、3年での履修が微増
- 3. 男性が多く、20代、50代も増加した
- 4. 情報を担当していない免許保持者が減少
- 5. 情報だけを担当する教員の増加
- 6. 情報だけの免許を持つ者の割合の減少

まとめ 2

- 1. PCを使わない授業、実習を伴わない授業の微増
- 2. 画面転送装置の利用の増加
- 3. サーバの個人領域への提出が微増
- 4. 生徒相互の作品鑑賞が増加
- 5. 教材の多様化が見られる
- 6. 評価はテストや成果物の重みが大きい

考察 (個人的な意見です)

- 偏り・集中から平均化へ (科目・教員等)
- 施設設備の充実が見られる。
- 様々な手法への取り組みや工夫が見られる。

(文責 柳澤実)

来年度に向けて

• 新たなるメンバーの加入

来年度への研究が進行中→ 2つのテーマ

埼玉高情研ウェブページ
http://www2.spec.ed.jp/krk/jyoho/